

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	小倉リハビリテーション学院
設置者名	学校法人 福岡保健学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	理学療法学科 昼間コース	夜・通信	69 単位	9 単位	
	理学療法学科 夜間コース	夜・通信	65 単位	7 単位	
	作業療法学科 昼間コース	夜・通信	66 単位	9 単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://kokura-reha.jp/student/syllabus

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	小倉リハビリテーション学院
設置者名	学校法人 福岡保健学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://fukuokahokengakuin.ac.jp/financial/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	一般社団法人巨樹の会代表理事	平成30年4月1日～令和2年3月31日	産学連携における指導、調整及び組織運営体制のチェック
非常勤	医療法人社団東京巨樹の会 理事長	平成30年4月1日～令和2年3月31日	学校運営全般
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名(学部等名)	小倉リハビリテーション学院
設置者名	学校法人 福岡保健学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 学校法人福岡保健学院リハビリテーション部門のカリキュラム委員会においてカリキュラム内容に関する見直しを行っている。 各校の科目担当者が話し合いを行い、講義計画を作成する。それをカリキュラム委員会で精査をしたのち決定となる。 カリキュラム委員会の会議は毎月実施している。決定したカリキュラムは、4月に学生に配布及びホームページに公開している。
授業計画書の公表方法 http://kokura-reha.jp/student/syllabus
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 単位修得の認定は、講義、実習等の出席状況と当該科目の評価により行う。出席時間数が、各授業科目の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受ける資格を失う。 学科及び演習の評価は定期試験及び再試験とする。本試験で不合格の場合には再試験を実施する。評価はA,B,C,DとしC以上を合格とする。 A:80点以上 B:70点以上 C:60点以上 D:60点未満 総合評価においては、学年毎の科目の平均点にて行う。そして1年間の成績結果は年度末の単位認定会議にて認定する。

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 評価は A, B, C, D の 4 段階とする。 総合評価においては、学年毎の科目の平均点にて行う。 A: 80 点以上 B: 70 点以上 C: 60 点以上 D: 60 点未満 	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>http://kokura-reha.jp/evaluation (情報提供等の取組に関するガイドライン)</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 教育課程に定められている該当年度の授業科目の単位修得を認定されたものに対し、進級を認定し、全課程の授業科目の単位を修得したものに卒業を認める。 	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>http://kokura-reha.jp/disclosure</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	小倉リハビリテーション学院
設置者名	学校法人 福岡保健学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://fukuokahokengakuin.ac.jp/financial/
収支計算書又は損益計算書	https://fukuokahokengakuin.ac.jp/financial/
財産目録	https://fukuokahokengakuin.ac.jp/financial/
事業報告書	https://fukuokahokengakuin.ac.jp/financial/
監事による監査報告（書）	https://fukuokahokengakuin.ac.jp/financial/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	理学療法学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,640 単位時間/単位	1230 単位時間 /単位	600 単位時間 /単位	810 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
		2,640 単位時間/単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		176人	0人	11人	26人	37人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）担当教員にて授業計画を立案し、カリキュラム委員にて内容の確認を行う。 計画作成時期：前年度中 公表時期：4月
成績評価の基準・方法
（概要） （成績評価）A(80点以上)・B(79～70点)・C(69点～60点)・D(60点未満)の4段階とし、C以上を合格とする。 ・単位認定は、当該科目に必要な出席状況と当該科目の評価により、単位認定会議にて決定する。 ・単位修得については、科目を履修しなければならない。
卒業・進級の認定基準
（概要） （進級）教育課程に基づき、各学年の科目単位を履修すること。 （卒業）教育課程に定められているすべての授業科目のすべての授業科目の単位修得を認定された者に対し、学校運営会議にて学院長が卒業を認定する。
学修支援等
（概要）ミニテストを実施し、早期に学習支援が必要な学生を対象に、支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
52人 (100%)	0人 (0%)	50人 (96.2%)	2人 (3.8%)
(主な就職、業界等) 医療施設、介護・福祉施設など			
(就職指導内容) 就職セミナーや履歴書の書き方、面接指導等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 理学療法士			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
166人	10人	6.0%
(中途退学の主な理由) 進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中退者防止については、教科による学習支援、担任による面談等の指導、そして、週一回の臨床心理士によるカウンセリングを実施している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	理学療法学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	夜	2,550 単位時間/単位	1,200 単位時間 /単位	540 単位時間 /単位	810 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			2,550 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		79人	0人	7人	30人	37人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）担当教員にて授業計画を立案し、カリキュラム委員にて内容の確認を行う。 計画作成時期：前年度中 公表時期：4月
成績評価の基準・方法
（概要） （成績評価）A(80点以上)・B(79～70点)・C(69点～60点)・D(60点未満)の4段階とし、C以上を合格とする。 ・単位認定は、当該科目に必要な出席状況と当該科目の評価により、単位認定会議にて決定する。 ・単位修得については、科目を履修しなければならない。
卒業・進級の認定基準
（概要） （進級）教育課程に基づき、各学年の科目単位を履修すること。 （卒業）教育課程に定められているすべての授業科目のすべての授業科目の単位修得を認定された者に対し、学校運営会議にて学院長が卒業を認定する。
学修支援等
（概要）ミニテストを実施し、早期に学習支援が必要な学生を対象に、支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
16人 (100%)	0人 (0%)	15人 (93.8%)	1人 (6.2%)
（主な就職、業界等） 医療施設、介護・福祉施設など			
（就職指導内容） 就職セミナーや履歴書の書き方、面接指導等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 理学療法士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
72 人	3 人	4.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中退者防止については、教科による学習支援、担任による面談等の指導、そして、週一回の臨床心理士によるカウンセリングを実施している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	作業療法学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2,580 単位時間/単位	1260 単位時間 /単位	510 単位時間 /単位	810 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			2,580 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		97 人	0 人	8 人	19 人	27 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 担当教員にて授業計画を立案し、カリキュラム委員にて内容の確認を行う。 計画作成時期：前年度中 公表時期：4 月
成績評価の基準・方法
(概要) (成績評価) A(80 点以上)・B(79～70 点)・C(69 点～60 点)・D(60 点未満)の 4 段階とし、C 以上を合格とする。 ・単位認定は、当該科目に必要な出席状況と当該科目の評価により、単位認定会議にて決定する。 ・単位修得については、科目を履修しなければならない。
卒業・進級の認定基準
(概要) (進級) 教育課程に基づき、各学年の科目単位を履修すること。 (卒業) 教育課程に定められているすべての授業科目のすべての授業科目の単位修得を認定された者に対し、学校運営会議にて学院長が卒業を認定する。
学修支援等
(概要) ミニテストを実施し、早期に学習支援が必要な学生を対象に、支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
36人 (100%)	0人 (0%)	29人 (80.6%)	7人 (19.4%)
(主な就職、業界等) 医療施設、介護・福祉施設など			
(就職指導内容) 就職セミナーや履歴書の書き方、面接指導等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 作業療法士			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
105人	6人	5.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中退者防止については、教科による学習支援、担任による面談等の指導、そして、週一回の臨床心理士によるカウンセリングを実施している。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理学療法学科 昼間コース	250,000 円	950,000 円	250,000 円	施設設備費 250,000 円
理学療法学科 夜間コース	250,000 円	650,000 円	150,000 円	施設設備費 150,000 円
作業療法学科 昼間コース	250,000 円	950,000 円	250,000 円	施設設備費 250,000 円
修学支援 (任意記載事項)				
夜間コースは1・2・3・4年次合計 1,000,000 円の修学支援あり 早期受験 授業料割引 100,000 円あり 特待生制度あり (授業料全額・半額・1/3 割引)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://kokura-reha.jp/evaluation		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者評価を通じ、教育活動及び学校運営を点検し、継続的に改善することにより、社会の変化に対応できる学校組織を目指すとともに、情報公開により学校の透明性向上を図る。また、自己評価・学校関係者評価を行うことを通して、全教職員が学校の状況や目標・方向性を共有し、教育活動及び学校運営の改善を円滑に推進する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
北九州市議会議員	平成30年4月1日～ 平成32年3月31日	地域住民
西南女学院大学 保健福祉学部福祉学科教授	平成30年4月1日～ 平成32年3月31日	学術委員
福岡県立 京都高等学校 校長	平成30年4月1日～ 平成32年3月31日	高校等評価委員
(株)シダー	平成30年4月1日～ 平成32年3月31日	企業等委員
社会医療法人財団 池友会 新行橋病院	平成30年4月1日～ 平成32年3月31日	卒業生
STAND UP 代表	平成30年4月1日～ 平成32年3月31日	企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://kokura-reha.jp/evaluation		
第三者による学校評価 (任意記載事項) 一般社団法人リハビリテーション教育評価機構 (有効期限: 2019年4月1日～2024年3月31日)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<http://kokura-reha.jp/>